

市議会 議長・副議長を選出

☎ 議会事務局 ☎ 内線 1801

2月15日(火)の令和4年第1回取手市議会臨時会で、議長と副議長の選挙を行った結果、議長に金澤克仁氏が、副議長に落合信太郎氏が選出されました。

議長 金澤克仁氏 (46歳)

平成20年1月初当選・現在4期目
所属政党：自由民主党

【議会での主な経歴】

常任委員会委員長を2回(総務文教、建設経済)、特別委員会委員長を3回(取手駅北土地利用構想に関する調査研究、予算審査、決算審査)歴任。



副議長 落合信太郎氏 (55歳)

平成24年1月初当選・現在3期目
所属政党：公明党

【議会での主な経歴】

常任委員会委員長を1回(総務文教)、特別委員会委員長を1回(デモテック戦略)歴任。



チャレンジいばらきまちづくり表彰

取手市壁画によるまちづくり実行委員会 優秀賞

☎ 文化芸術課 ☎ 内線 1291

まちづくり・景観などに対する県民の意識の高揚とまちづくり活動の促進のため、モデルとなるような団体・取り組みを表彰する「チャレンジいばらきまちづくり表彰」の景観・野外交渉部門で「取手市壁画によるまちづくり実行委員会」が優秀賞を受賞しました。



市では、平成12年から壁画によるまちづくりを実施しています。17年には「取手市壁画によるまちづくり実行委員会」が設立され、現在、市内18カ所に壁画が描かれています。今後は、壁画の修復などを中心に活動していきます。

■ 受賞内容

受賞団体 取手市壁画によるまちづくり実行委員会

事業名 壁画によるまちづくり

受賞理由 東京芸術大学と連携して市内各所に壁画を描くことで、市民が日常的に芸術に触れることができる環境を創出したほか、落書きや張り紙がなくなることで景観改善にも効果を上げたことが評価されました。

4月から常総広域指定ごみ袋が新しくなります

☎ 環境対策課 ☎ 内線 1419

外国人住民や視覚障害がある方に分かりやすく・使いやすくするため、ごみ袋が新しくなります。

■ごみ袋の変更点

①外国人住民にも分かりやすく

▶全ての種類のごみ袋に「英語」「ポルトガル語」「中国語」での表記を加えました。



▶資源物袋には「リサイクルマーク」を追加しました。



②視覚障害がある方にも使いやすく

▶同じ素材の不燃ごみ袋と資源物袋の区別ができるように、不燃ごみ袋の縛りしろに穴を開けました。

▶不燃ごみ袋の購入時の外袋右下部に1カ所、資源物袋の外袋右下部に2カ所穴を開け、種類の区別ができるようにしました。



③少量排出者の方にも出しやすく

▶これまで一サイズのみだった不燃ごみ袋に、小サイズの袋を追加しました。

※新しいごみ袋は4月から順次店頭に並びます。これまでのごみ袋は4月以降も使えます。

市制施行50周年記念×市民憲章「川柳」感想

市制50周年記念 × 市民憲章「川柳」 第12回



☎ 市民協働課 ☎ 内線 1172



市民憲章推進協議会が市制50周年を記念し実施した市民憲章「川柳」の入賞8作品と入賞以外の作品の振り返りを11回にわたる連載で紹介してきました。

最終回は、主催者である市民憲章推進協議会長と、事業に協力していただいた「16創年の会」の代表の方々に市制50周年記念×市民憲章「川柳」の感想を伺いました。

市民憲章推進協議会 会長

間宮真知子さん(写真左)

市民憲章や市の木・花・鳥を知らなかった人から、川柳を応募するときに知ったという声を聞きました。どの作品からも取手愛に溢れていることが感じられ、とても良い50周年の記念になりました。この企画を多くの市民の皆さんと実施できたことを感謝しています。ありがとうございました。

16創年の会 会長

相川香苗さん(写真中央)

くすっと笑えたり、景色が目浮かぶ作品が多かったです。子どもはモノを表す視覚的作品が多く、大人はモノ以外の感情を詠んでいました。楽しく選定でき、協力できたことをうれしく思います。

16創年の会 川柳会

永島豪郎さん(写真右)

市民の皆さんが、取手の魅力を川柳を通じて再発見できたと思います。コロナ禍で川柳会の活動ができなかった中、この選考協力が一つの活動となったことを感謝しています。



広報とりで

発行/取手市 編集/魅力とりで発信課 〒302-8585取手市寺田5139
TEL 0297-74-2141 内線1193 FAX 0297-73-5995

ホームページ: <https://www.city.toride.ibaraki.jp/>
e-mail: miryoku@city.toride.ibaraki.jp



広報とりでは、見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。